

高萩地区第3回学校運営協議会会議録

日時	11月18日(水)
場所	高萩小学校
出席者	石田則雄 鴨下吉彦 平沼良政 岡野一平 安原由美子 谷本和歌子 宮崎千恵子 半田貞晴 島津芳久
欠席者	熊坂知子
審議事項及び 決定事項	○高萩小中学校の地域学校協働本部(学校を支える組織)について
会議の経過	<p>○来年度に向けて地域学校協働本部について</p> <p>会長：地域学校協働本部とは学校を核として地域と学校が相互にパートナーとして支え合っていく。</p> <p>地域学校協働本部とは、従来の学校応援団等の学校支援本部を基盤として幅広い層の地域住民や団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成して地域学校協働本部活動を推進する。これを我々の基本として活動していく。</p> <p>○目指すものについて</p> <p>会長：アンケート結果より、学校運営協議会の目指すものは、課題について解決して目指す児童生徒像に近づけていくこと、ふるさとを愛する児童生徒の育成、生きていく力の育成に関わる3点に絞って活動していく。この3つについて具体策を決めて進めていく。</p> <p>委員：日高市の基本構想「笑顔と元気を 未来(あした)へつなぐ 緑きらめくまち 日高」と学校の現状がかけ離れているのではないか。</p> <p>会長：日高市としての基本構想の課題についてはどうか</p> <p>委員：主に学校としては中1ギャップ、小1プロブレムではないか。</p> <p>主にアンケート結果の課題を解決すればこの2つが解決できる。学力向上を達成すれば中1ギャップにも影響があるだろう。</p> <p>会長：今年はどの課題について活動していくか絞っていった方がいいのではないか。</p> <p>今年については学校から挙げられた課題から活動していくという認識でいく。</p> <p>目標の中で「ふるさとを愛し」の部分で、高萩を知ること。</p> <p>環境整備や地域の文化の伝承も「ふるさとを愛し」につながる。</p> <p>副会長：高萩を知るとい活動はしているのか</p> <p>委員：小学校3年生の中で総合的な学習の時間と社会科の抱きあわせで一緒になって学習をしている。長いスパンで行っている。町探検や、高萩ばやしなども含む。しかし今年はコロナ禍で見学や体験等の活動ができなかった。</p> <p>委員：中学校では広い面を範囲としてるので、地域清掃などを使って地域を知る</p> <p>日高市への提言という形で、未来の日高市のイメージを作ってプレゼンテーション資料を作成している。</p> <p>会長：そのような学習を通して、踊りや歴史などの体験活動をしながら「ふるさとを愛し」を達成していく。</p> <p>副会長：地域清掃を地域学校協働本部が企画すれば、他にも地域の方たちに声を掛けられることにつながる。</p> <p>委員：緩やかなネットワークで少しずつ広がっていくといい</p>

会長：「ふるさとを愛し」を達成するためにこういうことを活動していくのも大切である。

委員：日高市では市民憲章を定めている。市としての方針は伝統ある文化、緑ある自然と日高市として定義している。

副会長：高萩を知って、興味を持ってからじゃないと愛することはできない。

会長：どのようにしてふるさとを知るか

「ふるさとを愛し」を広くとらえて、まず知ること、そこから発展させていく。

「生きていく力を育む」をどうするか。生きていく力を育成するために、子供たちにやりがいを持たせていく。生きていく力とは学力を上げ、視野を広げ、自分で考えている力を養う。場合によって地域の方が英語を教えているところもある。何ができるか、具体化をしないとけない。今まで研修した中で三鷹市はいろんな活動の中に保護者や地域の方が入って協働してやっていく形があった。

委員：学力的な課題はある。子供たちに何が足りないかという自信がない。教員も周りの方々の協力があって、褒めることから自信を持たせ、やる気にさせ、自己肯定感に向上につながると生きていく力に変わる。ちょっとでも褒めてあげることが大切ではないか。

委員：職場体験やいろいろな体験を通じて子供たちが興味をもって、生きていく力を育みながら学力を向上させていくことがいいのではないか。

会長：地域のひとと体験活動を行えるとよりいいのではないか。

委員：毎年中学校では1月下旬に行き、いろいろなところをお願いして取り組んでいる。そこで勤めている方から教えてもらっている。

会長：大人の人から寄り添う、総合的な学習の時間などで大人が地域の人が寄り添いながら行っていく。

会長：基本的なことを考えて、多少変えていきながらも、その時その時に必要なことを行っていく。学力向上でも寄り添ったり体験をさせたりしていく。

現実に今までに行っていること、見守り隊、健全育成の会、環境整備（草刈り）は小学校で行っている。安全安心、文化の伝承など学校経営方針として位置づけられている。

委員：学校の課題、「ふるさとを愛し」、「生きる力を育む」の3点からだったら、環境整備や見守りは地域の方に入ってもらっている。学校教育目標を解決するための課題として考えられる。

委員：見守り隊の位置づけは声をかけることで地域の人たちが広い意味でふるさとを愛しにつながっていくのではないか。見守り隊の人たちはその一部としてとらえるのではどうか。

会長：3点についてまとめる中で、見守り隊もそのふるさとを愛しの部分に入る。

次回も目指すものを議題に入れていく。

委員：学校評価として12月ごろに今年度を振り返って、集計して課題を出して改善していく。具体的な方策と評価指標1から10まで小学校と中学校で設定して、それぞれの発達段階を考えて作成した。